

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第7区分
【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公開番号】特開2003-12190(P2003-12190A)

【公開日】平成15年1月15日(2003.1.15)

【出願番号】特願2002-99573(P2002-99573)

【国際特許分類第7版】

B 6 5 H 7/06

B 4 1 J 11/42

【F I】

B 6 5 H 7/06

B 4 1 J 11/42 M

【手続補正書】

【提出日】平成16年5月28日(2004.5.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の構成を有する少なくとも1つの透明シートをプリンタの媒体トレイ内へと配置するステップと、

プリントされるドキュメントを構成するステップと、

前記プリンタによって前記透明シート上へプリントできるかどうかを判定するために、前記透明シートを検知するステップと、

必要であれば、第2の構成を有する透明シートを前記媒体トレイ内へと配置するステップと、

前記第1の構成または前記第2の構成のどちらかを有する前記透明シート上へと前記ドキュメントをプリントするステップと
を含んでなる透明シートを検出する方法。

【請求項2】

前記透明シートが、デュアルパーパスオーバーヘッド透明シートをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記検知するステップが、

前記透明シートからの鏡面反射を検知するステップと、

前記透明シートからの乱反射を検知するステップと

をさらに含んでいる請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記透明シートの適切な面がフェイスアップしているかどうかを判定するステップをさらに含んでいる請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記判定するステップが、

前記透明シートを裏返して、適切な面がフェイスアップするようにするステップと、

前記透明シートの前記適切な面がフェイスアップしているかどうかを判定するステップと

をさらに含んでいる請求項4に記載の方法。

【請求項 6】

前記透明シートが適切な向きであるかどうかを判定するステップをさらに含んでいる請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

第 1 の構成を有する少なくとも 1 枚の媒体をプリンタの媒体トレイ内へと配置するステップと、

プリントされるドキュメントを構成するステップと、

前記プリンタによって前記媒体上へプリントできるかどうかを判定するために、前記媒体を検知するステップと、

必要であれば、第 2 の構成を有する媒体を前記媒体トレイ内へと配置するステップと、

前記第 1 の構成または前記第 2 の構成のどちらかを有する前記媒体上へと前記ドキュメントをプリントするステップと

を含んでなる媒体のタイプを検出する方法。

【請求項 8】

前記媒体が、オーバーヘッド透明シートを含んでいる請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記透明シートが、デュアルパーパスオーバーヘッド透明シートを含んでいる請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記検知するステップが、

前記媒体からの鏡面反射を検知するステップと、

前記媒体からの乱反射を検知するステップと

をさらに含んでいる請求項 7 に記載の方法。